

平成27年度
携帯電話とインターネット利用環境実態調査
平成26年度との比較調査結果の概要

長南町立長南中学校
平成27年6月25日

1. 調査目的

平成27年度長南町立長南中学校生徒対象に、携帯電話とインターネットの利用実態や意識等について調査を実施し、平成26年度の調査と比較しました。以下の教育を推進するための基礎資料を得ることを目的とします。

- ① インターネット・携帯電話の安全な利用に関して情報モラル教育の推進する。
 - ・ インターネット・携帯電話の使い方による光と影
- ② 長南中学校の生徒の携帯電話とインターネットの利用実態を明らかにし、トラブルやいじめの現状把握、学習や生活への影響を考察する。また、その結果を今後の指導に活かし、いじめの未然防止対策と道徳教育の充実に役立てる。

2. 調査方法

- (1) 調査学年：長南中学校1～3年 177名対象
回収 1年 54名
2年 57名
3年 60名 計 171名
回収率 96.6%
- (2) 調査期間：平成27年6月14日
- (3) 調査方法：生徒へのアンケート調査(無記名)

3. 調査内容

携帯電話の使用と所有者	4	ネット上の経験と興味	11
携帯電話を所有し始めと携帯の種類	5	ネット上のいじめとトラブル	12
携帯電話の支払いと利用料金	6	セキュリティー対策とフィルタリングの使用状況と必要性	13
携帯電話で使う機能	7	家庭でパソコンを使っのネット使用と所有状況	14
メール(LINE)の時間帯と相手	8	家庭でのパソコン利用時間	15
携帯からのインターネットアクセスと使用上の不安	9	パソコン利用時間と利用目的	16
携帯使用上の保護者との約束ごとと実際に経験していること	10	携帯を持たない人の意識	17

4. 調査結果概要

- 長南中学校は携帯使用(所有率)は昨年度の64%を今年度さらに上回り69%が使用(所有)。現中学2年生はこの1年で新たに35%が所有。3年生においては昨年同様93%が自分専用の携帯。
- 携帯を待ち始めたのは小学校6年から中学1年にかけて急増 携帯の種類は94%がスマートフォンに昨年よりさらに増える
- 携帯料金の支払いはほとんどが親。 使用料金は知らない生徒が6割弱 12%以上が7000円以上の支払い！！
- 携帯の使う機能として今一番多いのはLINE。現3年生はLINEをよく使うと回答した割合が18%下がる。1日平均の使用回数で30回以上のやりとりも減る。1年生はは40%が30回以上！！
- 問題は1日平均の使用回数・・・30回以上のやりとりは40%超え
- メール(LINE)をやる時間帯は学年があがるにつれ、遅くなる傾向。メール(LINE)相手は2年生は全員友人と行っている。異性とも20%がやりとり。
- 携帯を使ってのインターネットで2時間時用アクセスをしている2年生は25.6%に。3年生は減る。携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」「犯罪に巻き込まれる」「ネット上のいじめ」「生活のリズムが崩れる」ことへの不安が半数以上。
- 携帯の使用上で保護者との約束ごとで4人に1人は「特になし」と回答。使う時間帯の約束は25%から36%に増える。3年生は、「悪口や傷つくことの書きこみ」「書き込まれた経験」が他学年に比べ多い。交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意が必要！
- ネット上で知らない人との会話に対し興味を持っている生徒は3年生で30%。会ったことのある経験は2.6%。
- ネット上でいじめを受けた経験は3年では10%を超える。また、友だちとのトラブルになった経験も3年では20%弱である。
- ネット上でセキュリティー対策を講じている割合は全体的に高くなっている。フィルタリングについては1年生が低い。
- 家でパソコンを使いインターネットをやっている生徒は全体の48.6%。全体7.5%は生徒所有。
- 家でのパソコン利用は30分以内が最も多い。1年生はパソコンの利用率は他学年に比べ高い。パソコンの利用目的は様々であるが、情報収集(検索)で3人に1人。学習ではE-ライズの活用を推進しているが、あまり活用されていない。
- 携帯を持っていない1年生は61.5%が必要性を感じている。持たない理由は、「親が持たせてくれない」ことが理由として多いが、自発的に考えている生徒が増えている。

5. 調査結果に基づき、今後の4点の指導ポイント

ポイント1

中学生であるので、携帯料金にかかる親の経済的負担を知ることが大切。「わからない」と答えた生徒には、今月いくらかかったかを教え、また、パソコン等の通信料とあわせた金額について伝えていただきたい。

もし、可能であれば家計の中の通信料と教育費等についても話しあいましょう。

ポイント2

「生活のリズム」「学習への影響」「犯罪やトラブルに巻き込まれない」ために保護者との約束ごと、取り決めは不可欠！

昨年は「書き込みによるトラブル」があり、大きな問題に発展した経緯がある。今後も書き込みによるトラブルについて学ばせる必要がある。

ポイント3

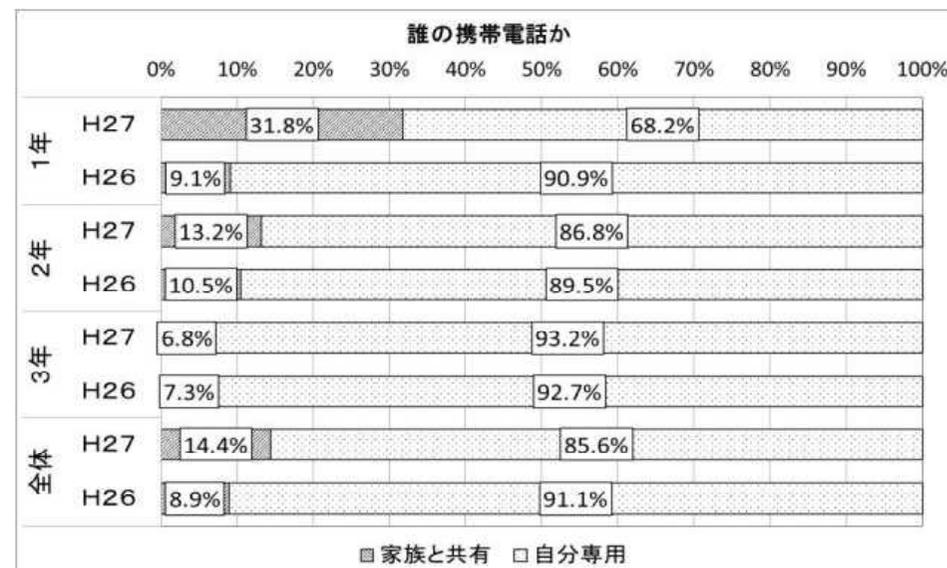
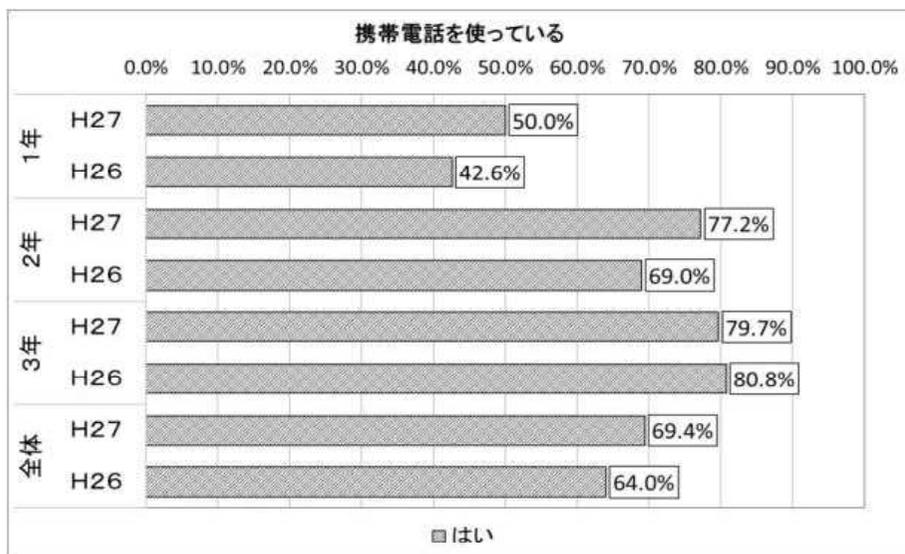
携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれていることについては引き続き指導していかななくてはならない。

ポイント4

ネット上のいじめやトラブルについて昨年度問題となり、全校で取り組んできた。未然防止・早期発見・早期対応できる体制づくり、アンケート実施・教育相談を行う。また、トラブルになった内容や原因について、教育相談や生徒指導部会を開いて確認する必要がある。

携帯電話の使用と所有者

長南中学校は携帯使用(所有率)は昨年度の64%を今年度さらに上回り69%が使用(所有)。現中学2年生はこの1年で新たに35%が所有。3年生においては昨年同様93%が自分専用の携帯。



長南中学校は携帯使用(所有率)は平成25年度の内閣府が公表した中学生の所有割合の4割台後半(46.2%)を大きく上回りました。また、昨年度の64%を今年度さらに上回り69%が使用(所有)していました。

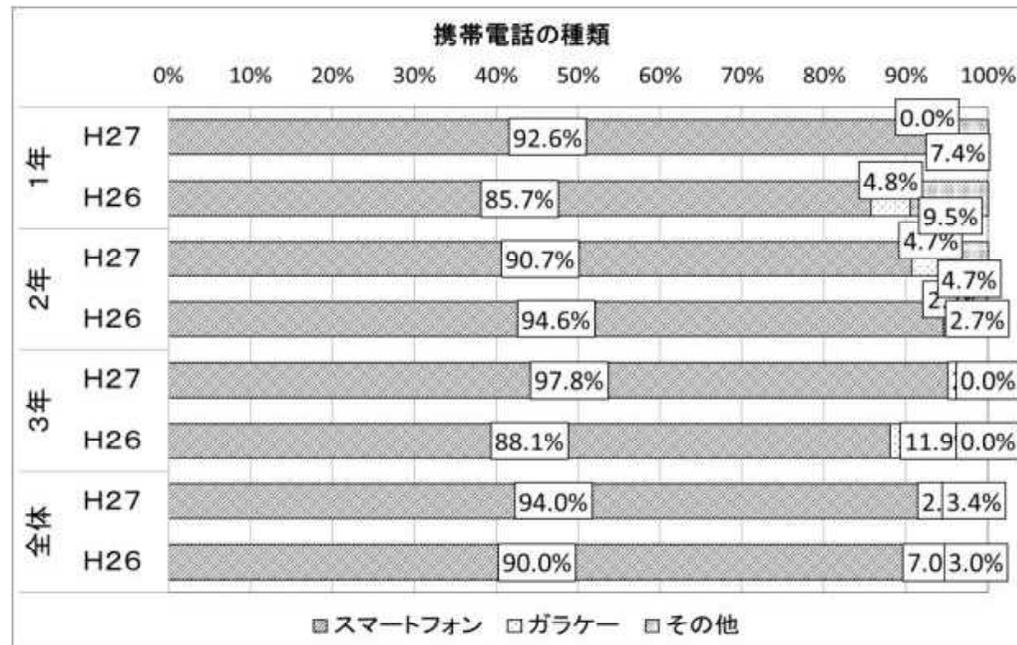
現中学2年生は昨年度のこの調査から約35%が新たに携帯を持ち始め、現中学3年も約10%が使用(所有)したことが分かります。また、現1年生も半数が所有しています。

長南中学校は携帯を家族と共有している割合は、1年生は約3人に1人であるが、学年があがるにつれ、その割合は低くなっていく。3年生においては昨年同様93%が自分専用の携帯を持っている。

携帯電話を所有し始めと携帯の種類

携帯を待ち始めたのは小学校6年から中学1年にかけて急増

携帯の種類は94%がスマートフォンに昨年よりさらに増える



携帯を使い始めた時期は小学校6年生～中学生にかけて、急激に増えている。

中学1年生に関しては所有者が半数であり、保護者と共有で使用しているため、中学2、3年ほど顕著にはなっていない。

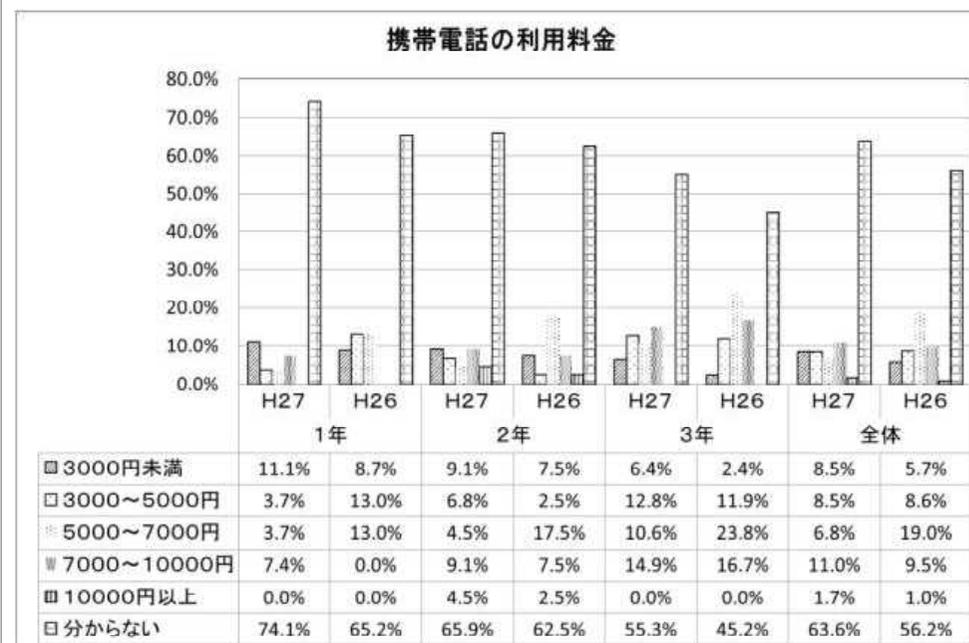
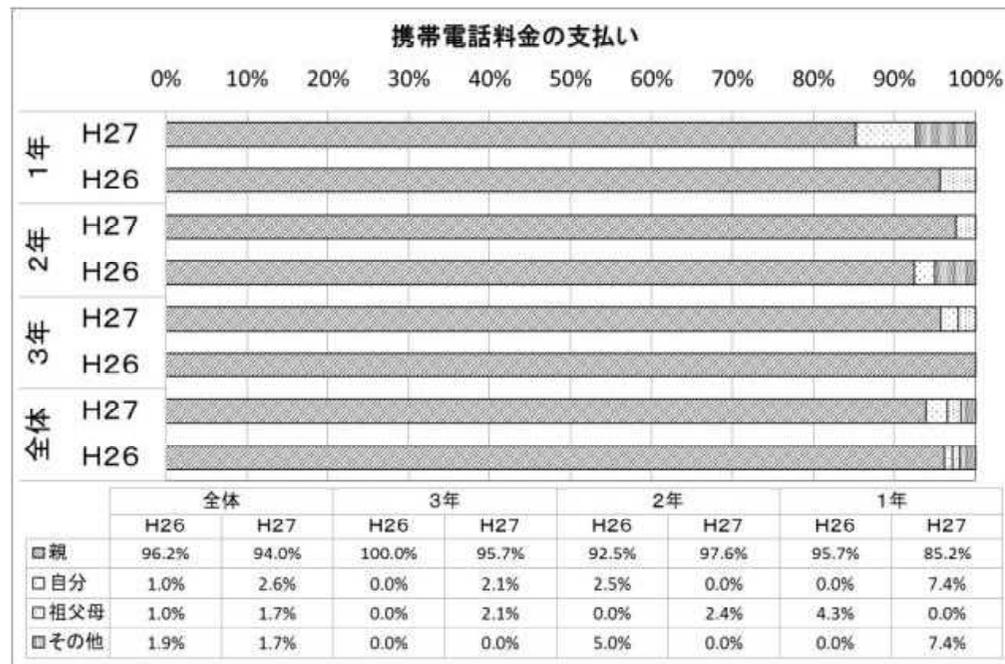
中学2、3年生については84%、91.5%がこの時期である。

内閣府が平成25年度公表した調査結果（平成24年調査）では「スマートフォン」の使用25%と比べると、その割合は明らかに高くなり、全体では昨年の90%をさらに上回り、94%となった。これは昨年来から、社会全体がすでにガラケーからスマートフォンに移行しつつあり、急速に普及している。スマートフォンの利便性と機能性が関与していることと結びつくと思われる。

携帯電話の支払いと利用料金

携帯料金の支払いはほとんどが親、

使用料金は知らない生徒が6割弱
12%以上が7000円以上の支払い！！



携帯の支払いは当然のことではあるがほぼ親が行っています。その金額については「1年は4人に1人が知らない」のが実態です。昨年度もお知らせしましたが、使っている生徒はその金額を知り、使用すべきだと思います。

全体の12%以上が7000円以上支払っており、保護者にとってはこの通信料金は経済的負担になっているのではないのでしょうか。

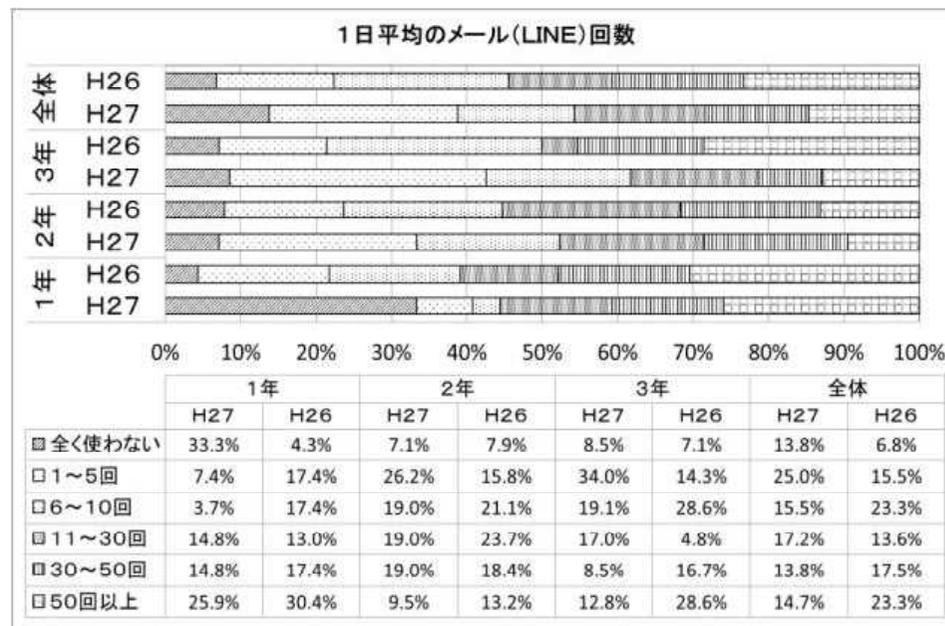
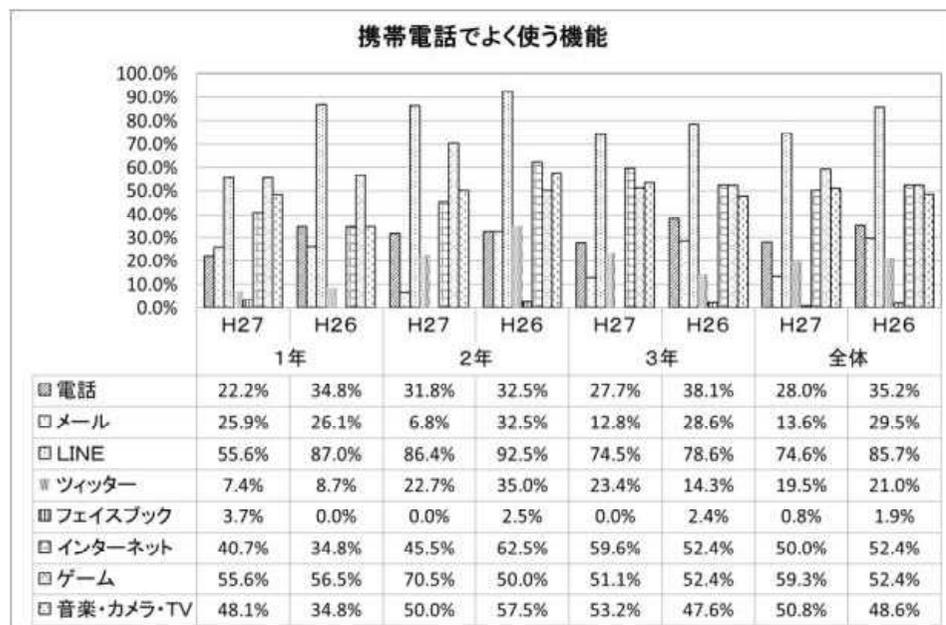
ポイント1

中学生であるので、携帯料金にかかる親の経済的負担を知ることが大切。「わからない」と答えた生徒には、今月いくらかかったかを教え、また、パソコン等の通信料とあわせた金額について伝えていただきたい。

もし、可能であれば家計の中の通信料と教育費等についても話しあいましょう。

携帯電話で使う機能

携帯の使う機能として今一番多いのはLINE。現3年生はLINEをよく使うと回答した割合が18%下がる。1日平均の使用回数で30回以上のやいととも減る。1年生は40%が30回以上！！



携帯で使う機能で最も多いのは昨年度と同様 LINE であったが、今年は傾向に変化が見られる。

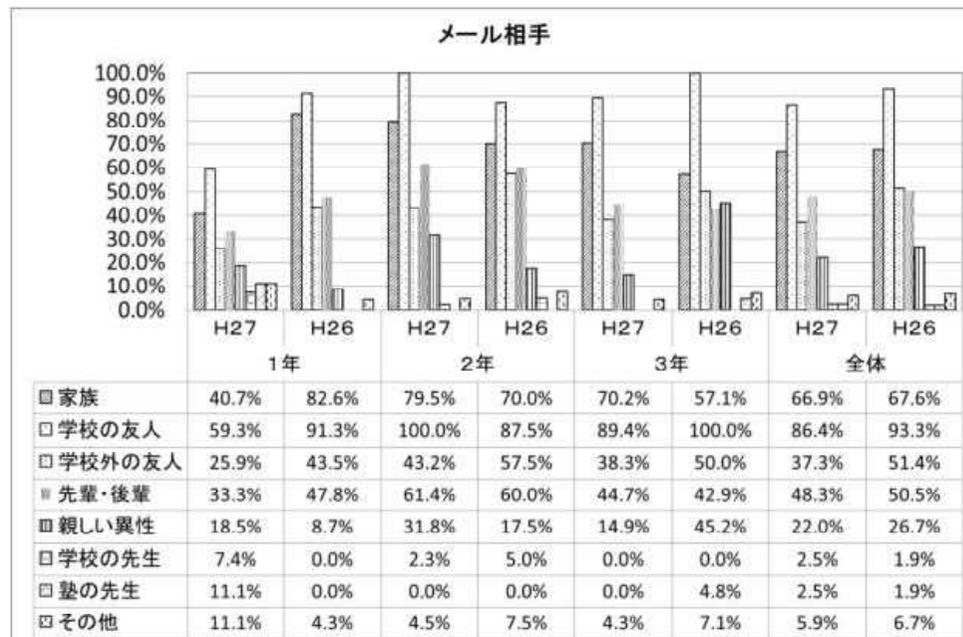
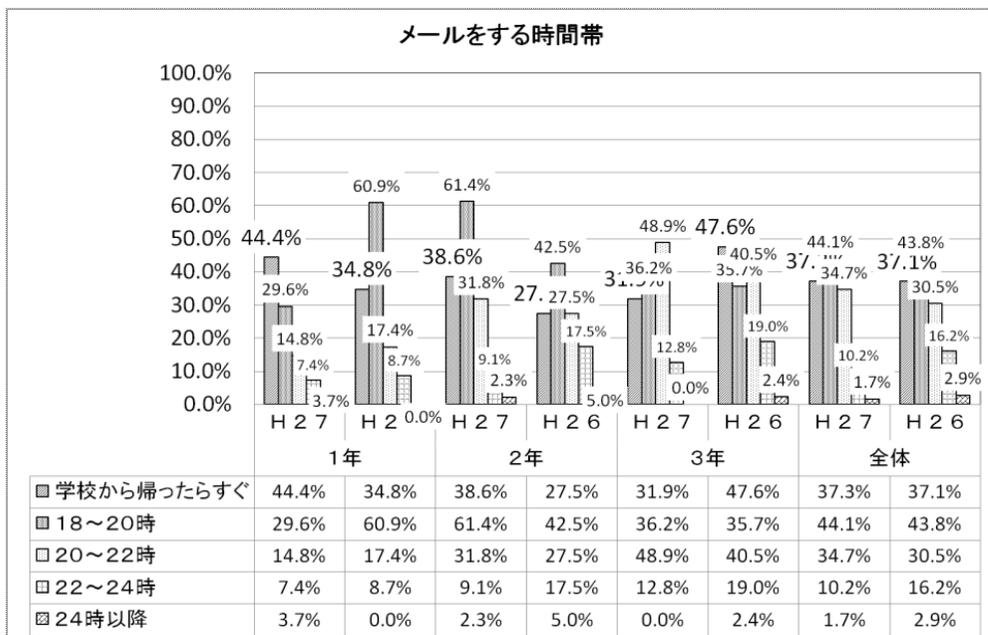
現3年生は LINE をよく使うと回答した割合が18%下がっている。全体的に3年生は携帯の利用が減っている傾向が見られる。

一方、2学年でゲームの利用が14%も増えている。しかし、3年生同様利用が減っている傾向が見られる。

メール (LINE)回数でも、50回以上の利用が2、3年生共に減っている。30回以上と回答した割合も、3年生は昨年の31.6%から21.3%に減っている。2年生も50回を超える生徒の割合が大幅に減少した。一方、1年生は携帯を持っている割合が低いものの、所有している40%が30回以上メールやLINEを利用している。

メール(LINE)の時間帯と相手

メール(LINE)をやる時間帯は学年があがるにつれ、遅くなる傾向。
 メール(LINE)相手は2年生は全員友人と行っている。異性とも20%がやりとり。

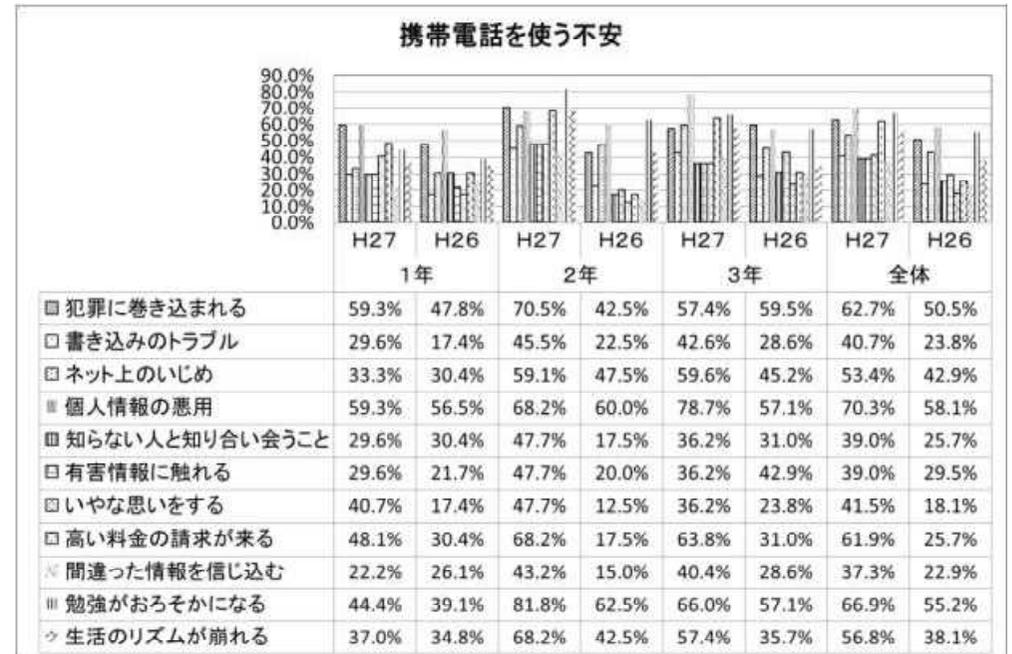
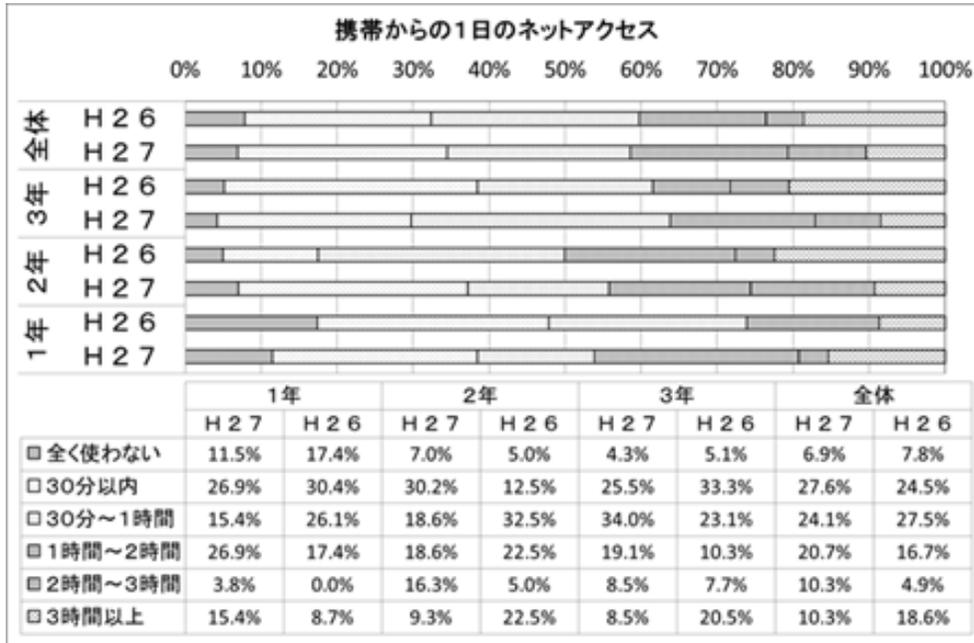


メール(LINE)をやる時間帯は、全体では「学校から帰ってすぐ」から22時まで35%から44%前後で推移していて、2~3人に1人がなっていることになる。
 学年別では1年生は「学校から帰ってすぐ」の割合が高いが、2年生は18~20時の時間帯での使用が非常に多い。学年があがるにつれ時間帯が遅くなる傾向が見られる。
 22時以降は3年生は減ったが1, 2年は10%を超えている。

メール(LINE)の相手は友人との割合がどの学年も高い。2学年は全員が友達とのメール(LINE)をやっている。
 1年生では昨年度は家族へのメールが80%を超えていたが今年度は40%にとどまる。2年では異性とのメール(LINE)が20%以上増えた。
 携帯の使用目的が、家族への連絡から友だちとのコミュニケーター手段に変わってきていることと関係があるものと思われる。

携帯からのインターネットアクセスと使用上の不安

携帯を使ってのインターネットで2時間時用アクセスをしている2年生は25.6%に。3年生は減る。
 携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」「犯罪に巻き込まれる」「ネット上のいじめ」「生活のリズムが崩れる」ことへの不安が半数以上。



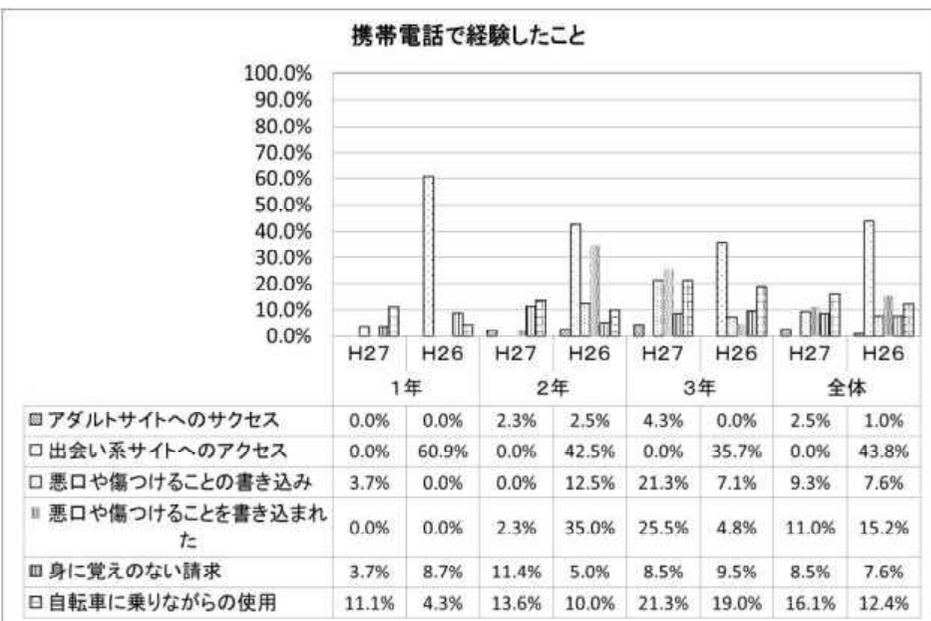
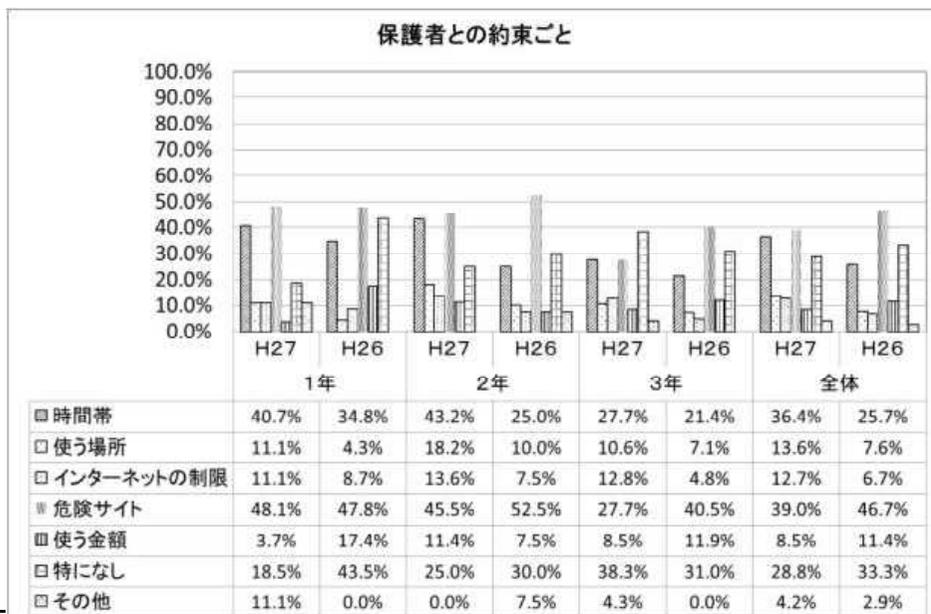
携帯からインターネットにアクセスする時間は現2年生が「2時間以上」と回答した生徒が昨年は8.7%であったが25.6%と増えている。また、1年生も19.2%と高い。一方3年生はアクセス時間が全体的に減少している。

3年生は昨年度、ネットアクセスについての話し合いがもたれたことや受験へと気持ちが向きつつあることによりこういった傾向に変わってきていると思われる。

携帯を使用する上で不安に思うことの上位は「個人情報の悪用」「勉強がおろそかになる」「犯罪に巻き込まれる」「ネット上のいじめ」「生活のリズムが崩れる」ことへの不安が半数以上である。また、「書き込みによるトラブル」「いやな思いをする」ことが増加した。実際に身近で起きていることや、自分自身への影響、また、情報モラルに対する学習が全体の不安に対する割合を高くしていると思われる。

携帯使用上の保護者との約束ごとと実際に経験していること

携帯の使用上で保護者との約束ごとで4人に1人は「特になし」と回答。使う時間帯の約束は25%から36%に増える。3年生は、「悪口や傷つくことの書きこみ」「書き込まれた経験」が他学年に比べ多い。交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意が必要！



携帯の使用上で保護者との約束ごとで「特になし」と回答している割合が若干下がったもののまだ4人に1人以上の割合を示している。その傾向は学年があがるにつれ高くなっている。インターネットの制限をかけている割合も下がっている。一方、使う時間帯の約束をしているのは36%とあがった。

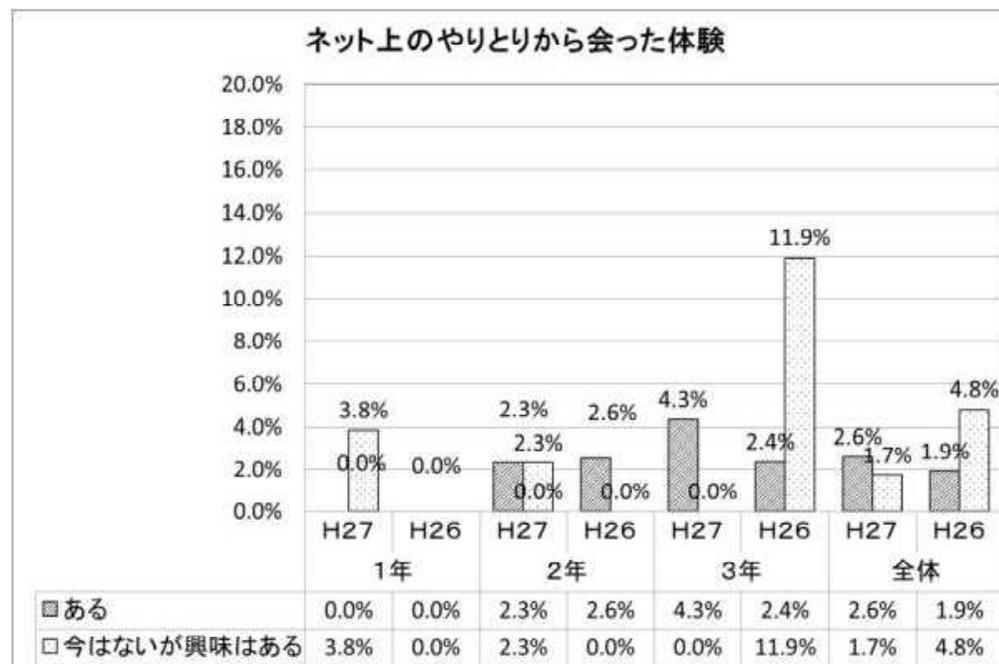
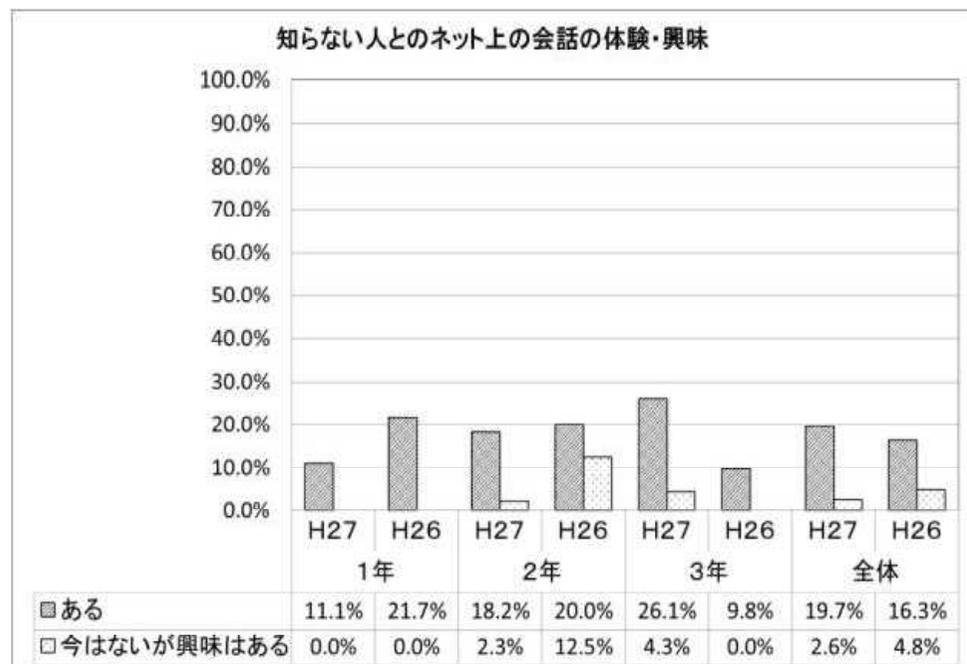
携帯で経験していることで、「悪口や傷つける書きこみ」に関することが、中3に多くみられる。「書き込まれた経験」も3年生は他学年に比べ非常に高い。また、交通面の安全から「自転車に乗りながら使用」には注意がさらに必要である。

ポイント2

「生活のリズム」「学習への影響」「犯罪やトラブルに巻き込まれない」ために保護者との約束ごと、取り決めは不可欠！
 昨年は「書き込みによるトラブル」があり、大きな問題に発展した経緯がある。今後も書き込みによるトラブルについて学ばせる必要がある。

ネット上の経験と興味

ネット上で知らない人との会話に対し興味を持っている生徒は3年生で30%。会ったことのある経験は2.6%。



ネット上で知らない人と会話することに興味を持っている生徒は、3年生では約30%、2年生では20%いる。

携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれる可能性があることについてさらに指導の必要がある。

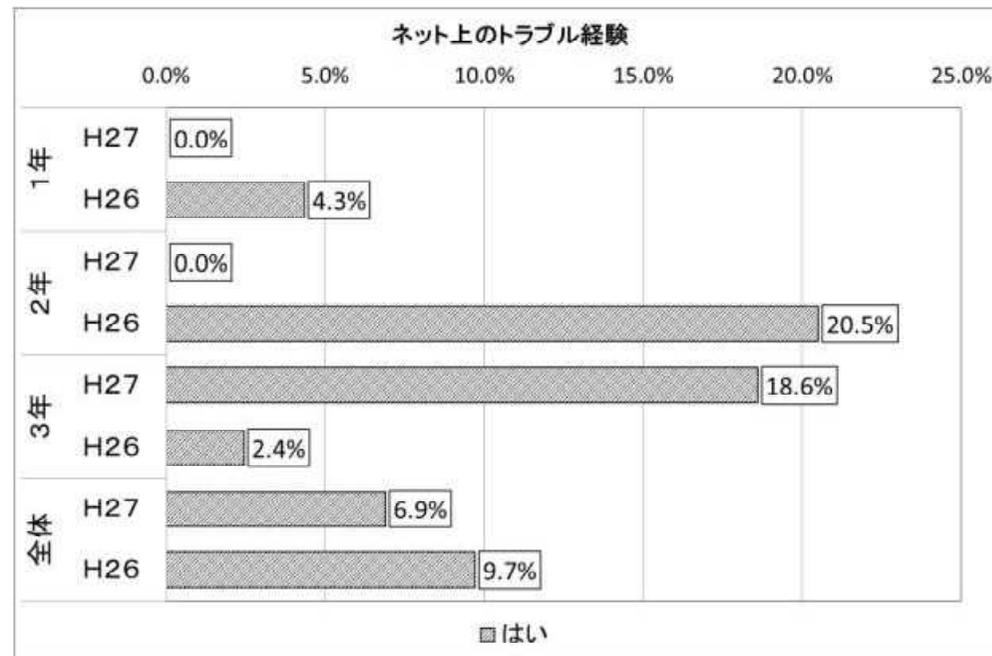
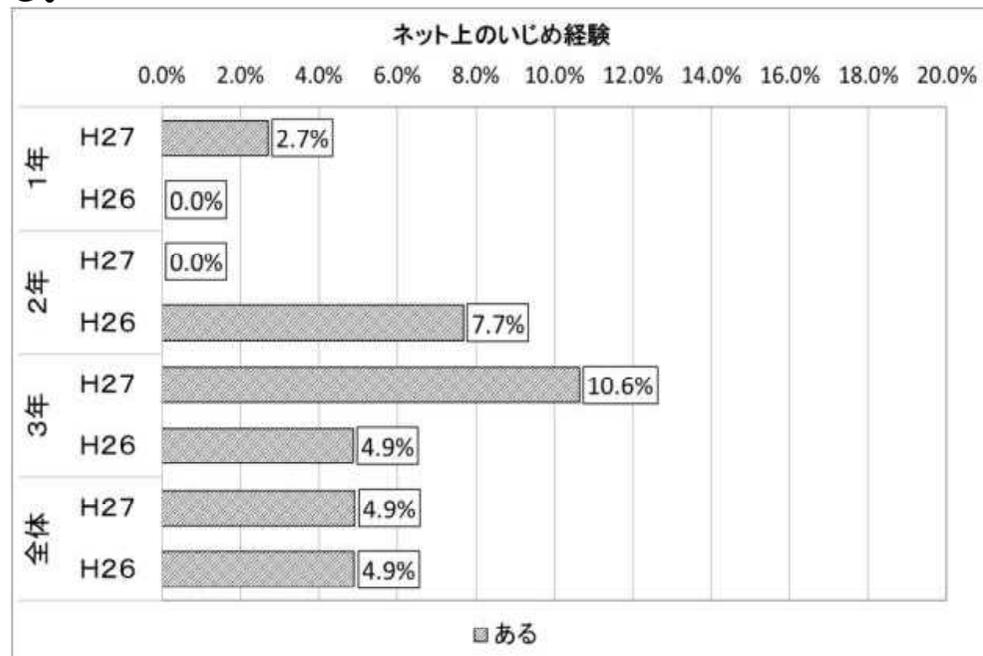
ネット上のやりとりから実際にあった経験がある生徒は全体の2.6%であった。また、実際に会ってはいないが「会うことに興味がある生徒」が1, 2年生で若干いる。

ポイント3

携帯使用上の不安の「犯罪に巻き込まれる不安」とも結びつくが、興味から実際に会うことで、事件に巻き込まれていることについては引き続き指導していかななくてはならない。

ネット上のいじめとトラブル

ネット上でいじめを受けた経験は3年では10%を超える。また、友だちとのトラブルになった経験も3年では20%弱である。



ネット上でいじめを受けた経験は、現3年生に「ある」と答えている生徒が10%を超える。2年生0であるが1年生も2.7%いる。

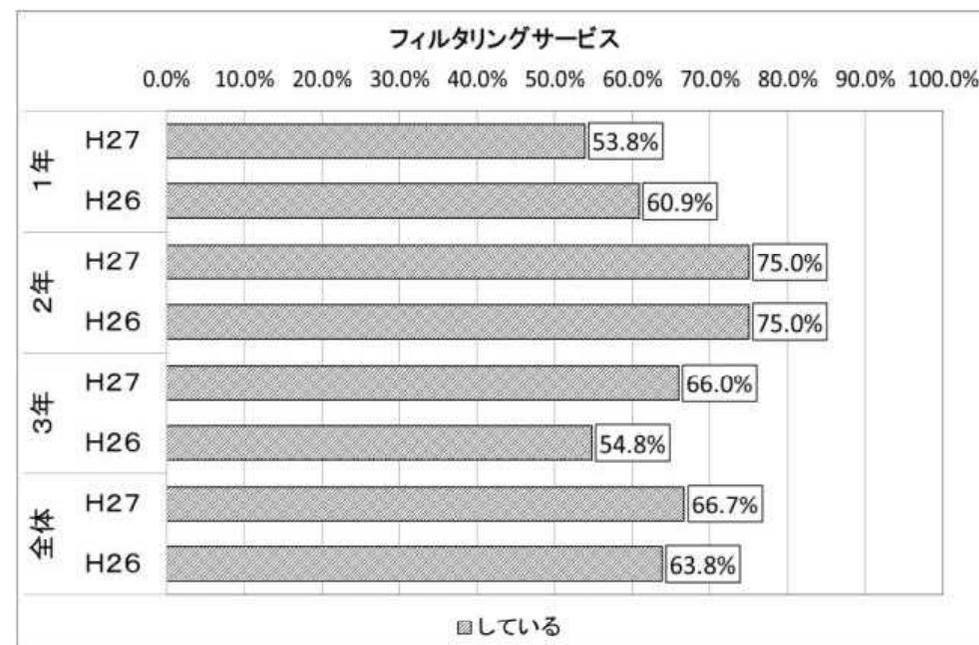
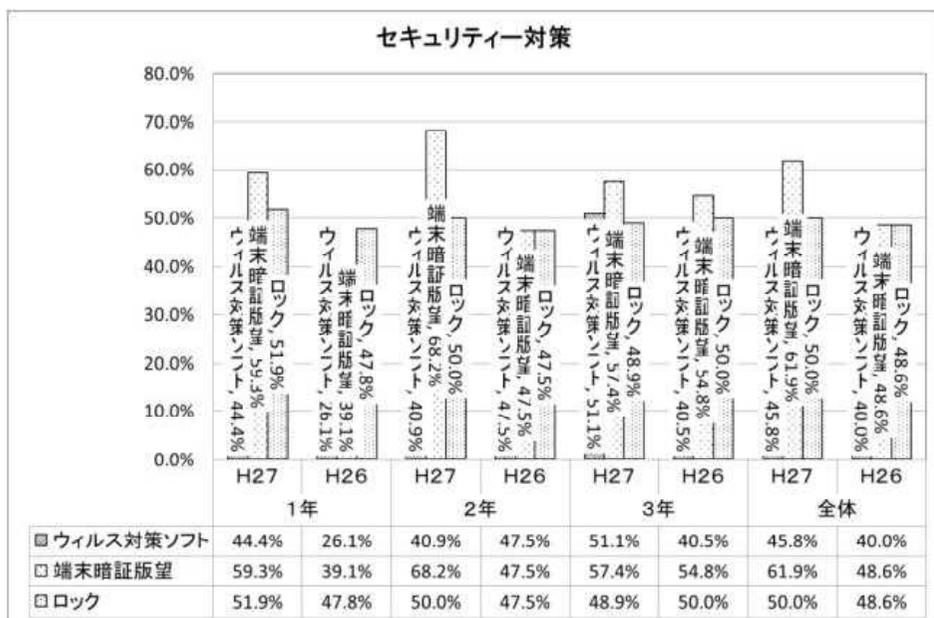
ネットを通して、友だちとトラブルになった経験がある生徒は1, 2年生はいないが、3年生で20%近くいる。昨年度あったことが継続していないか、新たなトラブルがないか教育相談や生徒指導部会で、調査していく必要がある。

ポイント4

ネット上のいじめやトラブルについて昨年度問題となり、全校で取り組んできた。未然防止・早期発見・早期対応できる体制づくり、アンケート実施・教育相談を行う。また、トラブルになった内容や原因について、教育相談や生徒指導部会を開いて確認する必要がある。

セキュリティー対策とフィルタリングの使用状況と必要性

ネット上でセキュリティー対策を講じている割合は全体的に高くなっている。フィルタリングについては1年生が低い。

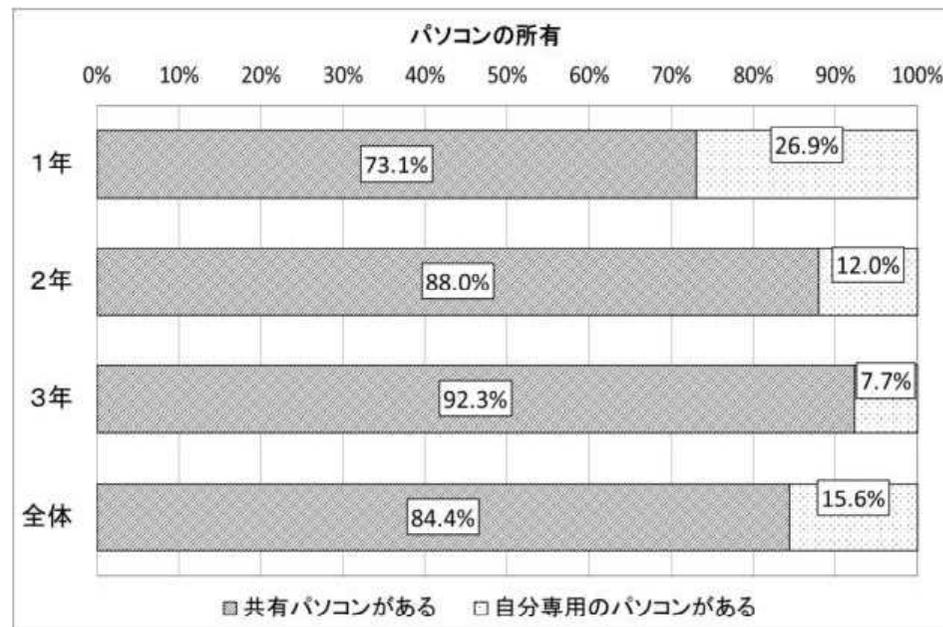
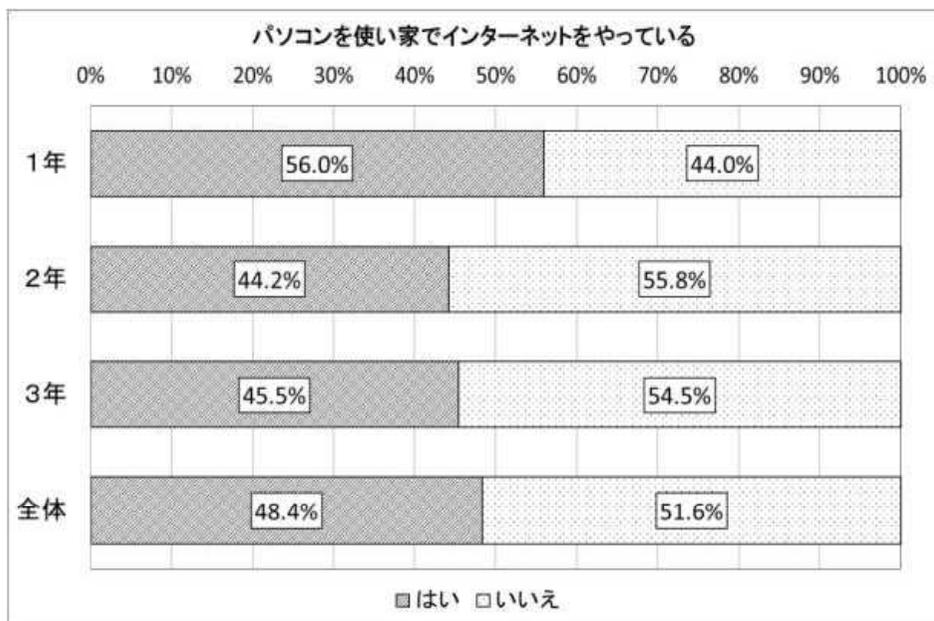


複数回答で答えているので、このグラフからは見えないが、昨年度よりセキュリティー対策を講じている生徒の割合は各学年とも高くなっている。契約時に行っているためと思われるが、安全・安心に使うためにも、情報モラル教育の1つとして、学習させていく内容である。

フィルタリングサービスを実施して割合は1年生が一番低い。セキュリティー対策と共に、保護者への啓発と生徒の情報モラル学習に取り入れる必要がある。

家庭でパソコンを使ってのネット使用と所有状況

家でパソコンを使いインターネットをやっている生徒は全体の**48.6%**。全体**7.5%**は生徒所有。



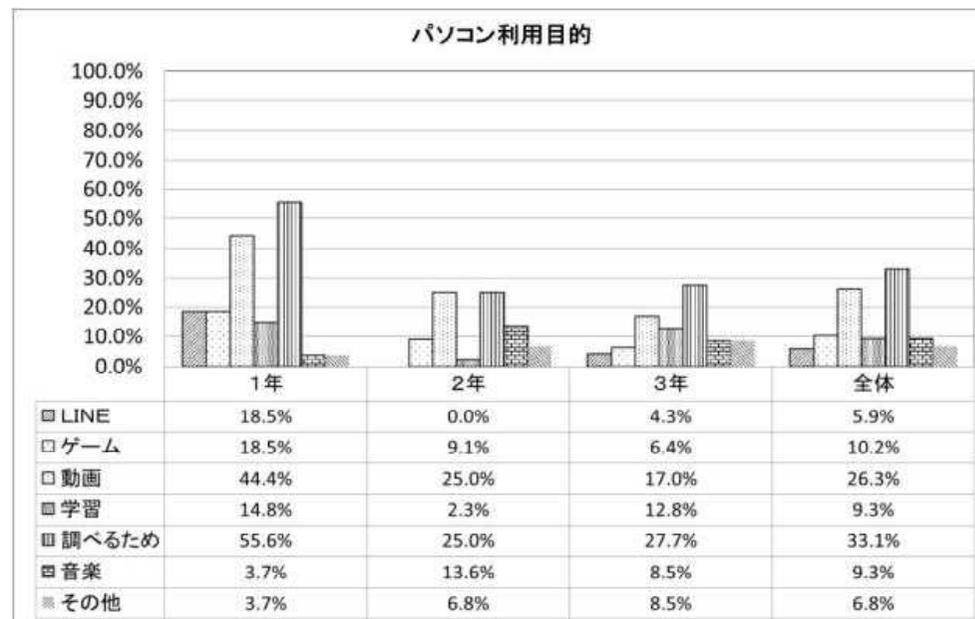
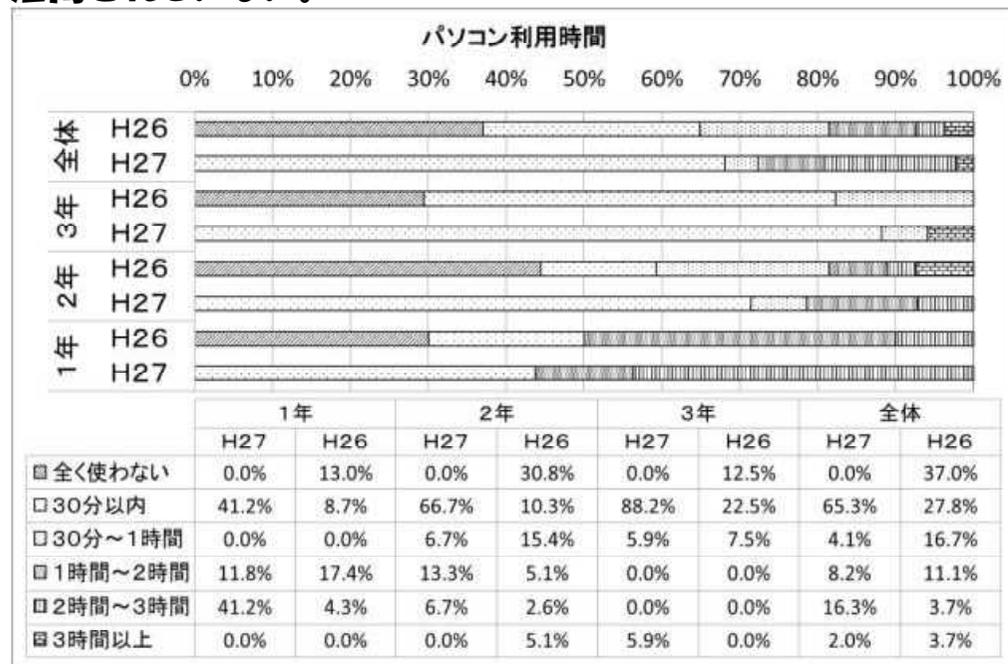
この内容は昨年度の質問事項と異なるため、今年の結果のみを紹介する。

家で、パソコンを使ってインターネットをやっている生徒は48.4%と半数に満たない。これは、携帯を使って、インターネット検索ができる環境があり、パソコンをわざわざ使う必要がないからと考えられる。

パソコンを使ってインターネットを行っている生徒と対象に聞いた内容である。自分専用のパソコンがある生徒は48.4%のうち15.6%で、全体の7.5%であった。

家庭でのパソコン利用時間と利用目的

家でのパソコン利用は30分以内が最も多い。1年生はパソコンの利用率は他学年に比べ高い。
 パソコンの利用目的は様々であるが、情報収集(検索)で3人に1人。学習ではE-ライズの活用を推進しているが、あまり活用されていない。

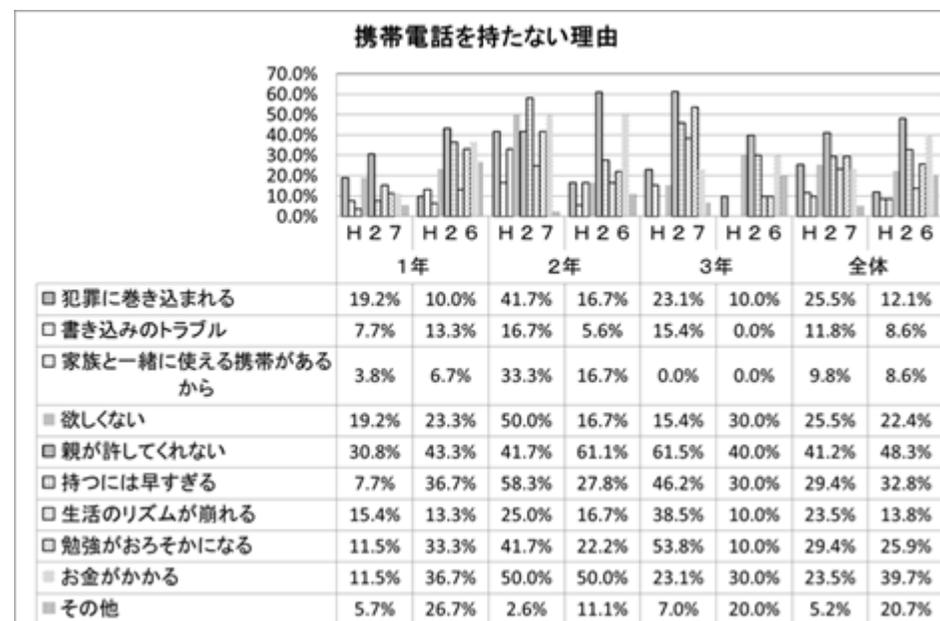
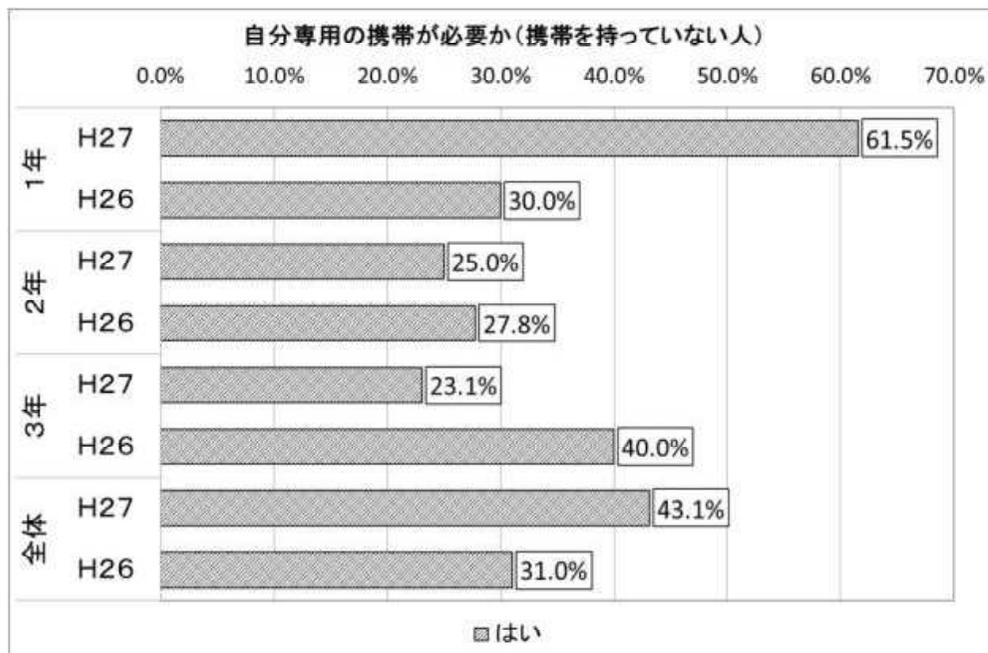


家でパソコンを利用している割合は、30分以内との回答が最も多く2, 3年生はその傾向が顕著であった。一方、1年生は2～3時間と回答している生徒が41.2%と高く、10名前後いると思われる。

パソコンの利用目的は情報収集(検索)が最も多く全体では3人に1人が利用している。1年生は動画の利用が検索と共に高い傾向にあった。
 学習については、家庭学習にE-ライズの活用を推進しているが、2年生はほとんど利用されていない。学習のための利用は全体では10%程度にとどまっているので、活用を推進していきたい。

携帯を持たない人の意識

携帯を持っていない1年生は61.5%が必要性を感じている。
 持たない理由は、「親が持たせてくれない」ことが理由として多いが、自発的に考えている生徒が増えている。



携帯を持っていない生徒の割合は学年があがるにつれ下がっている。1年生は61.5%がその必要性を感じている。
 1年生は携帯を持っていない生徒の割合が高いため、こういった傾向になってくると思われる。

携帯を持たない理由は全体の人数が少ないことが関係してくるかと思われるが「親が許してくれない」が高い割合を示すものの昨年度より下がっていた。
 しかし、「生活のリズムが崩れる。」「犯罪に巻き込まれる」など自発的な考えで持たない生徒が増えている傾向にある。